

## 社会科学学習指導案

北海道教育大学附属函館中学校 社会科

## 1 単元名 「私たちと経済」(第3学年)

## 2 単元について

本単元では、身近な消費生活を中心に経済活動の意義を理解させるとともに、価格の働きに着目させて市場経済の基本的な考え方について理解させることをねらいとしている。また、現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解させるとともに、社会における企業の役割と責任について考えさせ、その際、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について、勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の本質と関連付けて考えさせることをねらいとする。

## 3 題材名 「自分たちの消費生活に関わる問題」

## 4 本時の目標

これまでに学習した具体的な事例に基づいて、消費者としてのふさわしい行動について考えることができる。【社会的な思考・判断・表現】

## 5 本時における「消費者教育で育むべき力」および学習指導要領の「内容」

領域	②商品等やサービスの安全に関する領域
項目・目標	イ・商品等やサービスによる事故・危害が生じた際に、事業者に対して補償や改善、再発防止を求めて適切な行動をとることができる力
目標を構成する要素	1) 事故・危害発生時の事業者への適切な行動
学習指導要領の「内容」	【公民的分野】(2) イ「消費者の保護」

領域	③生活の管理と契約に関する領域
項目・目標	ア・適切な情報収集と選択による、将来を見通した意思決定に基づき、自らの生活の管理と健全な家計運営をすることができる力
目標を構成する要素	1) 適切な情報収集と選択・決定
学習指導要領の「内容」	【公民的分野】(2) ア「身近な消費生活を中心に経済活動の意義を理解させるとともに、価格の働きに着目させて市場経済の基本的な考え方について理解させる」

領域	③生活の管理と契約に関する領域
項目・目標	イ・契約締結による権利や義務を明確に理解でき、違法・不公正な取引や勧誘に気づき、トラブルの回避や事業者等に対して補償、改善、再発防止を求めて適切な行動をとることができる力
目標を構成する要素	1) 契約締結による権利・義務の理解
学習指導要領の「内容」	【公民的分野】(2) ア「身近な消費生活を中心に経済活動の意義を理解させる」

領域	③生活の管理と契約に関する領域
項目・目標	イ・契約締結による権利や義務を明確に理解でき、違法・不公正な取引や勧誘に気づき、トラブルの回避や事業者等に対して補償、改善、再発防止を求めて適切な行動をとることができる力
目標を構成する要素	2) 違法・不公正な取引・勧誘によるトラブルの回避 3) 違法・不公正な事業者への適切な行動
学習指導要領の「内容」	【公民的分野】(2) イ「消費者の保護」

## 6 本時の学習活動

学習活動	教師の動きかけ	・指導上の留意点
○パワーポイントをみて基礎的・基本的事項を確認する。	○ワークシートで基礎的・基本的事項の確認をおこなう。	
自分たちの消費生活に関わる問題について考えよう。		
<p>○商品を購入するときに自分が何に気をつけているのか、思いつく点をワークシートに記入する。</p> <p>○発表された内容を参考にして、商品購入のキーワードをワークシートに記入する。</p> <p>○オークションサイトの事例をみて自分だったらどこが不審であるか、その箇所を指摘し理由を説明する。</p> <p>○消費者が被害に遭った事例を調べ、ワークシートに整理する。</p> <p>○ワークシートにまとめた事例を発表し交流する。</p> <p>○本時の学習を振り返り、消費者として何を心がけて商品を購入するべきだと思うのか、自分なりの考えを記入する。</p>	<p>○周囲と交流させ、あげられた視点を板書する。</p> <p>○商品購入の際のキーワードをまとめさせる。</p> <p>○事例の不審な点となぜそう思うのかを発表によって交流させる。</p> <p>○資料集・タブレットPCを活用して、消費者が被害に遭った事例を調べさせる。</p> <p>○黒板を用いて、それぞれが調べた事例を整理する。</p> <p>○本時の学習をふりかえり、消費者として何を心がけて商品を購入すると良いのか考察させる。</p>	<p>・食品の場合、衣料品の場合など具体的に考察させる。</p> <p>・商品購入のキーワードを意識させる。</p>

## 7 評価

これまでの学習によって身に付けた知識等に基づいて、消費者としてのふさわしい行動について、具体的に考えようとしているか。【社会的な思考・判断・表現】